



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

開園90周年

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

7月園だより

令和6年6月27日

June.27. 2024

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



1 学期の終わりに

園長 河合 晴美

梅雨入りとなりましたが、天候に恵まれ子どもたちが楽しみにしていたプール・水遊びが行われています。毎日天気や気温を見ながら、安全に楽しく水に親しんでいます。

3歳児りんご組は、バケツいっぱい水を汲んで運び、その中の水を空けることを繰り返しています。そして「(水って)重い」「冷たい」「気持ちいい」など感じたことを笑顔で表しています。プールの前段階となる「桶」もお風呂に入るように喜んで入っています。



4歳児ばら組はバケツで水をたくさん運んでいます。水と遊具を前に、どのように使ったら楽しいかを試しています。そして、何より水に触れることを楽しみ、プールの中で声を上げ楽しんでいます。



5歳児さくら組になると、水の量や流れ方、流し方を考えながら水路をつくっています。水の性質をとらえ、どのように遊具を扱ったらよいのか考えながら試しています。そして、やっている動きや考えていることが友達に伝わると、実現するために手を貸したり、力を合わせたりしています。プールの中での宝さがしや動物になって体を動かすことをやり大満足となっています。



幼児は、ものとの関わりの中で、様々なことを感じながら自分なりに概念をつくり、捉えていきます。水や砂といった自然物は、十分に関わる体験でその特徴や特質を知り捉えていきます。それらの経験がさらに次の経験へとつながっていきます。大人は、頭の中でこういう風になるから・・・と予想が付きませんが、今を生きる子どもたちにとっては、まさにこの「今」をどう過ごすかが大切となります。繰り返し行われるプールや水遊びでは、経験していることが段階的に積み重ねられ、豊かな経験となるようにしていきます。靴の脱ぎ履き、衣類の着脱等、生活面での動きも丁寧に行い身に付けていきます。

さて、今年度南山幼稚園の90周年にあたり、麻布十番商店街の七夕飾りに子どもたちの短冊が飾られることになりました。皆さまに御協力をいただき、素敵なお願いごとがたくさん寄せられました。7月8日までの期間、街を行く人々の目に留まり、心が和み、温かい気持ちになることを思います。南山幼稚園の子どもたちが元麻布という地域の中で成長していく姿を商店街の皆さまはじめ、地域の皆さまに見守られていることに改めて感謝し、嬉しさは子どもたちの成長につなげていきます。先日の南山まつりの際のまつり系の皆さま、そして、周年行事に向けて取り組んでいる周年委員の皆さまをはじめ保護者の皆さまに支えられ、1学期が間もなく終了します。子どもたちが大きく成長した日々感謝をいたします。ありがとうございました。